

会議録

会議の名称	男女平等推進センター企画運営委員会 平成30年度第2回（H30.6.7～H32.6.6）
開催日時	平成30年7月20日（金曜日） 午後7時から午後9時まで
開催場所	住吉会館 1階活動室
出席者	委員：青木委員、白井委員、秦委員、松尾委員、横山委員、吉田委員 事務局：福田係長、樋口主査
議題	1 第1回会議録の承認 2 情報誌パリテについて 3 男女平等推進センター企画運営事業について 4 その他（次回開催日程等）
会議資料の名称	資料 ① 第1回会議録 ② 平成30年度 男女平等推進センター企画運営委員会事業年間計画（案）
記録方法	☐ 全文記録 ☐ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☒ 会議内容の要点記録
会議内容	
○会議内容 《開会》 1 第1回会議録の承認 委員長：第1回会議録について、何か意見はあるか。 委員：異議なし 委員長：それでは第1回会議録を承認とする。 2 情報誌パリテについて 事務局：現在情報誌編集委託業者に関しては2次選考が実施されたところである。今後、契約締結をもって委員の皆様にも事業者の紹介を行う。今年度中に2度の発行予定であるため、本日はどのような企画にするか意見を出していただき、事業者に伝えたいと考えている。 委員：内容とはどのようなことを話すのか。 事務局：構成面で考え、特集記事をどのような内容でページ数をどのようにするか。例えば、20号までの情報誌の内容で残すものと削るもの、また新たな発想はあるかの意見を出していただきたい。 委員：20号までは2色刷りであったが、事業者が変更となるのであれば、カラーにすることはできるか。 事務局：仕様書に従い事業者の選定を行っている。仕様書に従うということが原則である。	

委員：他自治体を見ると、カラー版が多い、２色刷りでは目立たない。市民が手に取る気持ちにならないのではないかな。

事務局：カラー化によりページ数の減少、発行部数の減少ということになる。
２色刷りで紙面構成を変更するような考え方はないか。また、他自治体でカラーにしている場合、元々の予算の違いや、編集委員による取材・編集を実施し、印刷会社に印刷のみ依頼しているところも多い。

委員：ページ数・発行部数が減少してもカラー化することで多くの人が手に取るのではないかな。

事務局：懇談のつどい出席者や市民の方からのご意見で、単色でも発行部数を増やし、全戸配布を要望する声があった。ただ、全戸配布に関しては配布委託料もかかるので現在は実施が困難であると伝えている。

委員：例えば、料金が変更無く、ページ数発行部数も減少無く、表紙のみカラーが可能かどうかを決定した事業者を確認する事は可能か。

事務局：仕様書の変更に関しては担当課に確認し、上司とも相談しなければ回答できない。

委員：確認願いたい。

事務局：承知した。

今の段階で企画について出していきたい。

委員：「西東京市の治安の実態」と題して統計と警察署でのインタビュー、市民座談会を実施し、記事とする。

委員：女性目線の内容とする必要があるのではないかな。

委員：政治分野における男女平等参画推進法とそれに係る内容。

委員：講座の企画案で出ているが、パワハラ・セクハラについて。

委員：パリティの活動報告をいくつかピックアップして講座レポートの作成する。

委員：本の紹介はそのまま残し、本の写真を大きくして紹介文を短くする。

委員：編集後記は１名でよいと思う。輪番制で実施する。

委員：市民で活躍する方の紹介と登録団体の紹介交互に行うでよい。

事務局：パリティの紹介と女性相談の案内を入れていただきたい。

委員：企画ではないが、構成で右開きではなく、左開きとする。

委員：文字をつめるのではなく見やすいレイアウト。

事務局：意見を事業者伝える。

３ 男女平等推進センター企画運営事業について

事務局：企画については企画案が提出されているので、資料として配布した。

企画について決定する時間が本日はないがどうするか。次回委員会が９月の予定であったが、８月に実施することでもよいかな。

委員：９月に話し合うことはいかがかな。

事務局：講師の予定を押さえるためにも、早めの開催のほうが良いと考える。

委員長：８月で都合の悪い方はいるか。可能であれば８月実施を検討したい。

委員：８月２４日（金）であれば可能。

委員長：８月２４日（金）でよろしいが、場所は田無庁舎が可能であればとっていただきたい。

委員：日程について、異議なし。

事務局：場所については確認して知らせる。

委員長：企画案について簡単に説明願いたい。

- 委員：「リスク管理のプロに学ぶ、防災対策」（計画Ⅰ-6男女平等参画の視点による防災、まちづくりの推進）可能であれば陸上自衛隊の方を講師に実際の被災地の現状や防災対策を危機管理のプロから学ぶ。
- 「女性のためのコンプライアンス入門」（計画Ⅰ-4経済活動における男女平等参画の推進）セクハラ・マタハラ・パワハラ等働く女性にとって様々なハラスメントが存在するが、ハラスメントのリスクから身を守り、いきいきと働くための知識を学ぶ。
- 委員：「妻・田部井淳子との日々」（計画Ⅰ-1男女の固定的性別役割分担意識の解消）ご夫婦とも登山家である田部井さんが妻の登山家としての活動を支るために家事・子育てを分担した経緯や妻の余命宣告後も妻の活動を支えた日々についての話。
- 「セクハラ・パワハラについて考える」（計画Ⅱ-3男女平等を阻む暴力の防止）セクハラ・パワハラのが害者が擁護され、被害者が非難されることが往々にしてある中で、弁護士から現状を聞きながら考える。
- 委員：「脳がイキイキ！心もスッキリ！ゼンタングルアート体験」（計画Ⅲ-3子育てへの支援）ゼンタングルとは、【禅+tangle(ぐるぐる、お絵描き、絡みあい)】から生まれた言葉。消しゴムも定規も使用せずフリーハンドで描き、誰でもできるもの。家事・育児・仕事・介護から離れてリラックスする事を目的とする。
- 委員：「もう二度と散らからない片付け・掃除術」（計画Ⅰ-1男女の固定的役割分担意識の解消）部屋の片付けは女性の役割と考えられがちであるが、片付けのポイントを知ることによって男性の家事参画を促す。
- 「豪雨災害の避難行動をシュミレーション（計画Ⅰ-6男女平等参画の視点による防災・まちづくりの推進）避難行動ゲーム（EVAG）を通して防災意識を高める、自分以外の立場で防災を考える。
- 「女性のための護身術」（計画Ⅱ-2配偶者からの暴力防止と被害者支援、Ⅱ-3男女平等を阻む暴力の防止）女性が襲われた時にどのように対処すればよいか考える。
- 「新生活応援！魅力アップカラーコーディネート」新生活にむけ、自分を最大限魅力的にみせるためにカラーを学ぶ。また、女＝赤・男＝青というような固定観念を取り除く。
- 事務局：「女性のための護身術」と「新生活応援！魅力アップカラーコーディネート」については今年度相談員企画の自立支援講座で実施予定である。
- 委員：『CSP講座「ほめる子育てをしよう」』（計画Ⅲ-3子育てへの支援）子育ての不安や孤立感の軽減。初めての子育てで迷う親に解決策を提案する。
- 「ノーバディーズ・パーフェクト講座」（計画Ⅲ-3子育てへの支援、Ⅳ-1男女平等推進センターパリティの事業充実）在宅で子育てをする母親のもつ力を発揮しプログラムを進める。講座後は参加者同士がサークルを作ることへも繋げる。
- 「魔法の言葉～質問をうけるだけでどんどんやる気がでる」二人一組になり、いくつか質問するだけで課題が解決したりやる気がでてきます。講座が終わると気持ちがすっきりする。
- 「パパと積み木で遊ぼう！童具館の積み木がやってくる」（計画Ⅲ-2男性の家事・育児・介護への参加促進）幼児から小学生までの子どもと父親を含む家族を対象積み木のワークショップを実施し男性の子育て参加を促進する。
- 事務局：今回企画を提出されていない方は次回開催前までに企画案を提出いただきたい。

提出期限を8月17日午前とする。

委 員：承知した。

4 その他(次回開催日程等)

事務局：次回は8月24日（金）午後7時からとする。場所は後日お知らせとする。

委 員：承知した。

委員長：では、本日は散会とする。ありがとうございました。

《閉会》